

群馬県立太田東高等学校 学校評価一覧表① (平成27年度版・最終報告)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学重視型単位制の学校として、50分7校時の日が週4日、朝補習・土曜補習なしの体制に満足している生徒が、70%以上いる。	① 授業改善推進委員会を中心に幅広い学力を付けさせる授業の実践を行うとともに、定期課題や休業中の課外授業等の改善を図る。	A	A	授業改善委員会を中心に全職員で、更なる授業の充実に取り組んでいく。特に言語活動の充実を図り、生徒が主体的に考えを深められるよう指導の充実を図る。	A	A	生徒から89%と高い肯定意見があった。今後もキャリア教育部と授業改善委員会が協力し、より質の高い授業を目指して、全職員で取り組んでいく。
		② 「みらい学」を中心とした EAST Project に主体的に取り組む生徒が、70%以上いる。	② 関係機関と連携を図るとともに、生徒の進路意識と学習への動機付けを結び付けられるような工夫を行う。	A	A	キャリア教育推進事業を生かし、教科や特別活動と連携しながら、「みらい学」のさらなる改善・充実を図る。	A	A	文科省指定のキャリア教育推進事業を通して取り組んだ諸活動を生かして、今後も主体性を育てる指導を継続していく。
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒が、80%以上いる。	③ 授業を充実するとともに、特別活動や部活動などの活性化を図る。	A	A	現在の取組を継続していくとともに、約14%の生徒の状況を確認する。	B	B	多くの生徒が好感を持っている。今後もより充実した高校生活になるよう支援する。
	2 ボランティア活動に生徒が積極的に取り組んでいますか。	④ 学校周辺の清掃活動「わくわくボランティア」への参加生徒が、30%以上いる。	④ ボランティアの意義について理解を深めるようにし、多くの生徒の参加をうながす。	A	B	キャリア教育の一環ととらえ、地域との交流を通じて、社会貢献の大切さを理解させる指導の充実を図る。	A	A	生徒会が中心になって積極的に地域貢献できるよう、現在の指導を継続、発展させていく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 生徒が「分かる」授業の工夫が行われ、授業が「分かりやすい」と答える生徒が70%以上いる。	⑤ ICT機器やプリント等の活用の充実を図るとともに授業展開や発問等の工夫を行い、生徒が考えることのおもしろさを実感し、考えを深められるようにする。	B	A	ICT機器の利用も増え、授業の工夫・改善が行われている。授業改善推進委員会やみらい学とも連携し、さらに授業の改善・充実を図る。	B	A	ソフト面とハード面とも整備が進み、機器の稼働率が向上した。今後は設備を充実させるとともに、より効果的な活用法を工夫する。
		⑥ 自分のもつ力を発揮して、学習に意欲的に取り組んでいる生徒が、70%以上いる。	⑥ 習熟度授業や少人数授業のよさを十分に生かすとともに上位や下位の生徒にも対応した授業を行う。	B	B	成績下位者への指導を継続しつつ、成績上位者層への適切な対応を検討し、個別の指導を充実する。	B	B	成績上位者への指導を充実するため、課外の内容を検討している。また生徒同士が協働的に学習する授業を工夫する。
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が70%以上いる。	⑦ 基礎基本の定着を図るとともにそれらを活用できるような指導を行う。また、生徒の言語活動の充実を図る。	B	B	各教科や各年次で課題や一斉テスト等を有効に活用し、理解にとどまらず表現する力を身に付ける指導を行う。	B	B	自ら主体的に学び知識を活用する姿勢を身に付けさせる指導をより一層工夫する。
		⑧ 平日の学習時間が1時間30分以上の生徒が、70%以上いる。	⑧ 学習量調査や二者面談等を行い、生徒に学習への自覚をうながす。	C	C	学習量調査やアンケートを活用し実態を把握する。また、授業の充実のためにも家庭学習が不可欠であることを徹底指導する。	C	C	家庭学習の内容を授業で積極的に活用させ、必要性を実感できる工夫をする。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 服装頭髪指導を登校時や集会時等に全職員で取り組む。	⑨ 各年次と生活指導係が中心となり、すべての職員が共通理解の下、統一的に服装頭髪指導に関わる。	A	A	現在の取組を継続していく。また、キャリア教育とも連携し、生徒の自己指導能力の育成に資するようにする。	A	A	服装や頭髪などの身だしなみは整ってきている。自転車やスマートフォンのマナーについても生徒の意識を高める
		⑩ 校内の安全点検を毎月1回実施する。	⑩ 各箇所の清掃監督が点検表で点検する	B	B	生徒会の美化委員会を活用し、清掃および衛生管理を改善する。	A	B	トイレが改修され、生活環境が大幅に改善された。継続的に校内改修を進めたい
		⑪ 月に1回大清掃を実施する。	⑪ 普段は時間が無くてできない部分の清掃を徹底する。	B	B	重点箇所をより入念に清掃することで、校内美化を一層向上させていく。	A	A	生徒の美化意識と衛生管理能力が向上した。教室の換気も積極的におこなった。
		⑫ いじめの未然防止に努めるとともに、いじめの解消率が100%である。	⑫ アンケート等を実施し学校生活の実態把握に努めるとともに、二者面談等を適切に行う。さらに生徒会とも連携を図る。	A	A	より一層の生徒理解を図り、全職員でいじめの未然防止に努める。また、人権教育も含め校内研修の充実を図る。	A	A	いじめゼロを継続していくとともに、生徒の人権意識を向上する活動を行っていく。
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬ 家庭と連携を図りながら、生徒の怠慢による遅刻を減らし、1日の平均遅刻者が全生徒の2%以下である。	⑬ 遅刻者記入カードの活用を図るとともに、遅刻常習者には個別の指導を行う。	A	A	玄関(登校時)指導を継続していく。また、キャリア教育とも連携し、生徒の自己指導能力の育成を図る指導を工夫する。	A	A	着こなしキャンペーンや玄関(登校時)指導を継続していく。また、生徒自身の自己指導能力の向上をうながす。
		⑭ 自分の健康管理に気を遣って生活している生徒が、80%以上いる。	⑭ 「保健だより」で健康面を、「教育相談」や二者面談等で精神面を含む生徒の一般的な学校生活を支える。	B	B	熱中症(夏季)やインフルエンザ(冬季)、ノロウイルス等、各種感染症の予防指導を行う。	A	A	今季のインフルエンザ発症数は僅少であった。教室の換気やハンドウォッシュ等の効果が出ている。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑮ 担任と生徒の二者面談を年2回以上、さらに保護者を加えた三者面談を年2回(1・2年次は1回)行う。	⑮ 二者面談等において、本人の適性や進路希望を確認し、進路実現へ向けて支援する。	A	A	適切な進路指導に加えて、年間行事計画にとらわれないこと、積極的に面談等を実施していく。	A	A	年次を横断して情報を共有し、全職員で進路相談に対応できる環境づくりを目指す。
		⑯ 進路通信を年5回以上発行する。	⑯ 時期や年次に応じて進路通信を効果的に発行する。	B	B	進路情報が保護者のもとへ確実に届くよう、GSNメール連絡網も適宜活用する。	B	B	充実した情報提供を目指すとともに、保護者への確実な情報の伝達を工夫する。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるように努力をしている生徒が、70%以上いる。	⑰ 「公開みらい学」、「大学訪問」などの際の事前事後の指導を徹底するとともにその成果と課題を検証する。	B	B	生徒の積極的な取り組みを促す工夫が必要である。キャリア教育推進の事業を活用し、各取組が関連しあう改善・工夫を図る。	A	B	国指定のキャリア教育推進事業で得たノウハウをさらに発展させ、主体的に進路選択できる生徒の育成を目指し、全職員で共通理解のもと指導の充実を図る。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑱ 家庭、地域社会が学校評価の「学校を開く努力」の項目に75%以上が肯定する。	⑱ 「公開みらい学」、学校説明会、「オープンスクール」、「図書館一般開放」などを効果的に実施するとともに、積極的、計画的に広報活動を行う。	B	B	職員・地域からも概ね支持されている。公開みらい学やオープンスクール等をより充実するとともに、広報活動を一層工夫する。	B	B	公開みらい学やオープンスクール等の内容の充実を図る。また、学校行事への参加も呼びかけ、本校生徒の様子を知ってもらうよい機会にしていく。
		⑲ 広報紙「みらい」を年2回発行するとともに、学校のホームページを定期的に更新する。	⑲ 学校説明会等で広報紙を配布するなどして、本校の教育活動を紹介するとともに、ホームページを充実する。	B	B	広報紙「みらい」の内容を充実させていく。また、受験生向けの Web ページシステムを現在構築中である。	B	B	積極的な情報発信を今後も継続していく。キャリア教育推進の現状や成果等も公開し、本校の特色をアピールしていく。
	10 保護者、地域社会は学校の教育活動に理解を示してくれますか。	⑳ 保護者、地域社会が学校評価の「本校の努力」の項目に75%以上が肯定する。	⑳ 本校の教育活動について積極的に情報発信し、理解と協力を求める努力を行う。	B	B	学習・進学努力・交通マナーで評価を得られている。今後も指導を積み重ねていく。	B	B	保護者からは充実した高校生活に多くの支持を得ている。今後もより高い信頼を得られるよう努力していく。